

# 「安全」と「需給」を天秤

経済界  
要請

甘い  
見通し

需給

過酷事故対策

地震対策

全電源喪失

津波対策

安全



# 再起動の必要条件

1. 福島事故の**原因が確定していない**。
  - ①政府事故調 中間報告(2011/12) 委員長・畑村洋太郎
  - ②国会事故調(最終報告予定2012/6) 委員長・黒川清
  - ③民間事故調(独立検証委員会) 最終報告(2012/2)
  - ④東電事故調 中間報告(2012/12)
2. **新しい独立した規制機関**が設立されていない
  - ①原子力安全・保安院は失格
  - ②政治家による「安全保証」は不適格
  - ②原子力規制庁の独立性(環境庁下か、「第三委員会」か・・・)
3. 新しい機関による**新しい安全基準**による検証が必要
4. 「必要な原子力」の**根拠(情報)全開示(政府・関電)**
5. **地元の同意** ①地元の範囲 ②安全保証＋廃炉後の保証

# 飯田哲也氏の考え

## 問題はピーク時間帯だけ



### □ピークカット

- ①大口需要家に節電(昨年)
- ②すべての産業に節電(今年)

昨年100万キロワット → 150~200万可能

### ③一般家庭

ピーク割安料金設定(昨年比減)

ピーク割高料金設定(昨年比増)

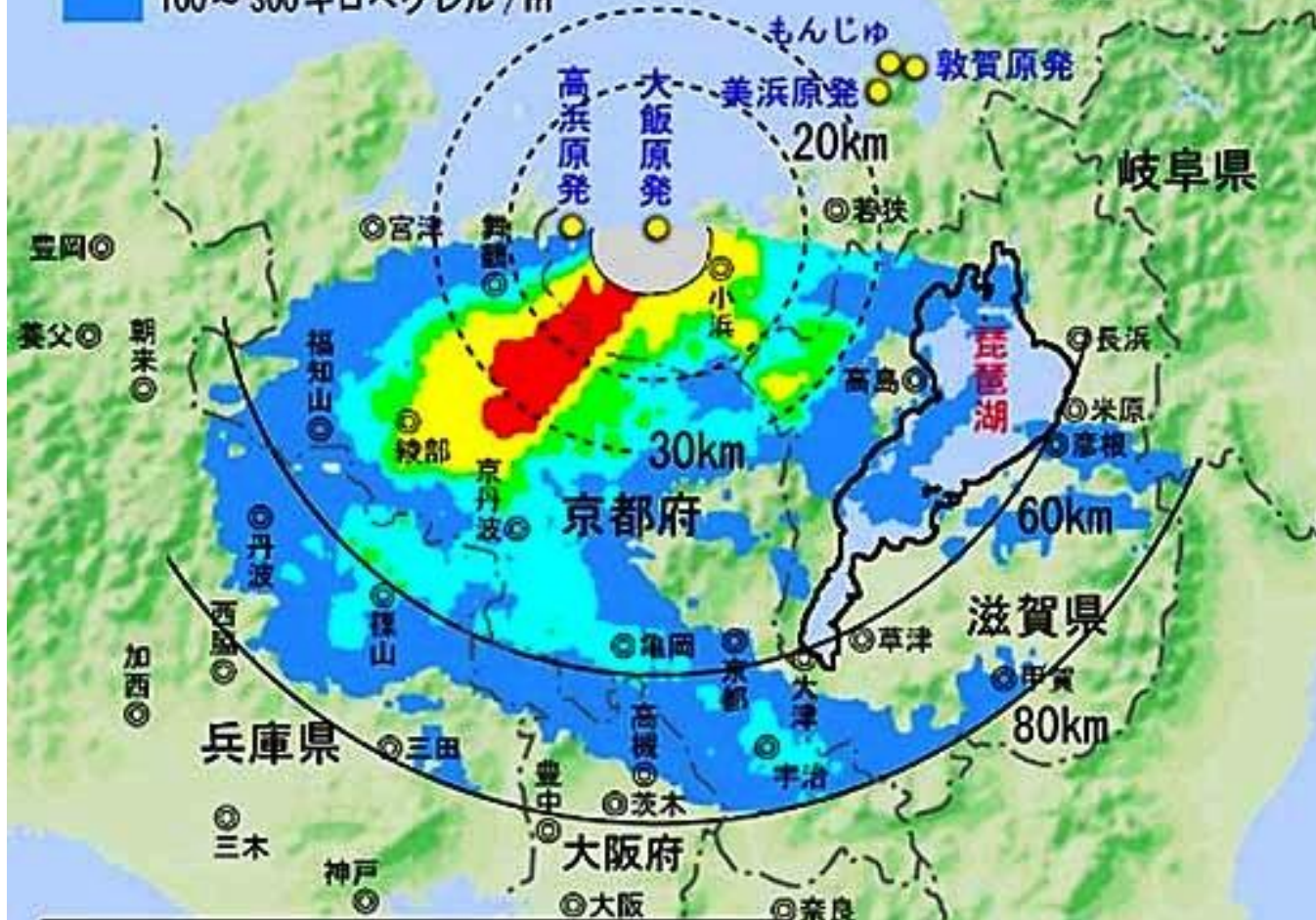
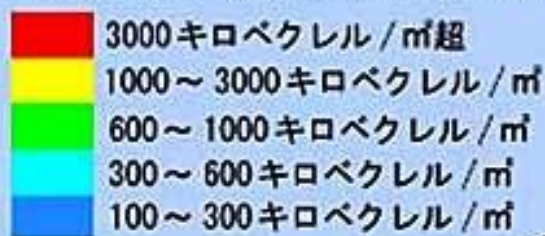
### □ピーク供給

- ①他から買う
- ②揚水発電のスタンバイ



# 大飯原発を中心に福島原発事故による土壌汚染図との重ね合わせ

セシウム 134+137 (文科省とDOEの第三次航空モニタリングより作成)



◆チェルノブイリ  
移住の権利ゾーン：185 ~ 555 キロベクレル / m<sup>2</sup>  
移住の義務ゾーン：555 キロベクレル / m<sup>2</sup> 超

作成: 美浜の会